

令和元年度(2019年度)日本工学会 公開シンポジウム

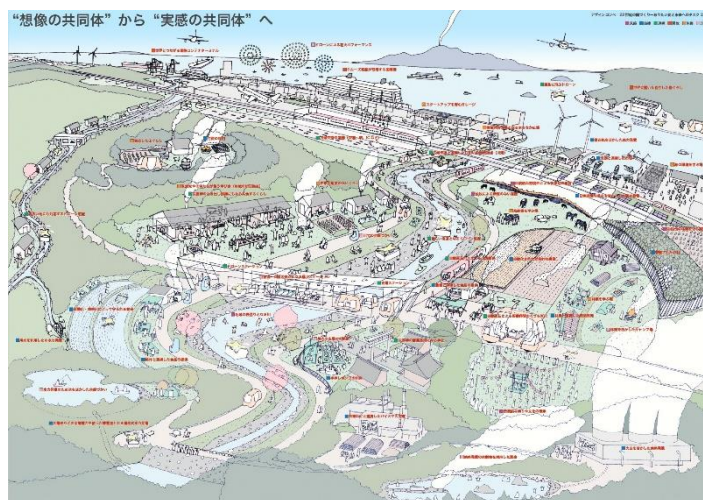
「工学の未来 — 今、社会が工学に求めるもの —」

日時: 令和元年(2019年)6月7日(金)13:00 ~ 16:45

場所: 東京大学 山上会館 2階大会議室

趣旨:

現在我々は、AI や IoT、ビッグデータのように飛躍的に進化する科学技術、人口減少や価値観の多様化する社会環境、さらに地球温暖化による気候変動といった激動の時代を迎えている。また、我が国の工学やモノづくり技術についても、大きな曲がり角にさしかかっている。今後の我が国の工学のためにも、どのように変わり、どの方向に向かうべきか、しっかりと「あるべき未来」を描く必要がある。そして、その実現に向け工学がどのような役割を果たせるか、本シンポジウムでは「工学の未来」について議論し、その成果を広く社会に発信したい。



Copyright © 2019 風景デザイン研究会 All Rights Reserved.

プログラム:

総合司会 高木 真人 日本工学会理事

13:00-13:10 開会の辞 日本工学会会長

13:10-13:40 特別講演「先端技術と伝統技術の融合: 酒造りにおける先端技術と伝統技術の融合」

桜井 一宏 旭酒造株式会社 代表取締役社長

13:40-14:05 招待講演「22世紀の国づくりビジョン」

沖 大幹 土木学会「22世紀の国づくりプロジェクト委員会」委員長、
国際連合大学上級副学長、東京大学 教授

14:05-14:30 招待講演「科学のミカタ」

元村 有希子 毎日新聞編集委員

14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 特別講演「先端技術と伝統技術の融合: 世界で勝利するために、ハイパフォーマンスを追求する」

中島 正太 日本ラグビーフットボール協会 日本代表チームアナリスト

15:10-15:35 招待講演「アナリシスからシンセシスへ～ゼロから生み出す必要性～」

石川 正俊 東京大学 教授、日本工学会フェロー

15:35-15:40 休憩

15:40-16:40 パネルディスカッション モデレーター: 佐藤 徹 日本工学会事業企画委員長、東京大学 教授

16:40-16:45 閉会の辞 小松 利光 日本工学会副会長

17:00-19:00 交流会 東京大学山上会館 地下1階食堂

備考: シンポジウム参加費: 無料、ただし資料代として 2,000 円(学生 1,000 円)

交流会参加費 5,000 円(学生 2,000 円)

申込先(申込期限 2019 年 5 月 31 日): <http://www.jfes.or.jp>

(定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。)

お問い合わせ先: 日本工学会 (eng@jfes.or.jp、Tel:03-6265-0672、Fax:03-6265-0673)

